

1999年冬学期：日本語102

Date	Lesson contents (textbook page no.)	Quizzes	Homework (due)
1/6 (W)	Course Introduction & Katakana A-So (p.89-91)		
8 (F)	Katakana Ta-N (p.91-97)	Kana quiz 1 (a-so)	p.23-25
11 (M)	Ch. 5 Vocabulary (p.131-134)	Kana quiz 2 (ta-n)	p.25-31
P-1	Language 1 (p.137-141)		
13 (W)	Language 2 (p.141-143)	Vocab. quiz 1	
15 (F)	Language 3 (p.144-147)	Vocab. quiz 2	
18 (M)	Language 4 (p.147-150)		p.43-45 & 161-163
P-2	Language 5 (p.150-152)		
20 (W)	Reading & Listening (p.152-154)		
22 (F)	Dialogue & Review (p.134-136)		p.46-49 & 164-166
25 (M)	Integration (p.156-157) & Chat Time I	Grammar quiz	

1/6 (W) Course Introduction & Katakana A-So (p.89-91)

A. シラバス (10) : シラバスを配る。ほとんどの学生が先学期とっているので、軽く説明。以下を特に強調しておいてください。Course Objectiveは、一緒に読んでたくさん勉強しなければいけないことを強調。

- 1) セクション1か2を決めれば、そのセクションにいつも行くこと。遅れたからといって、勝手にセクションを変えないこと。
- 2) プラクティカムは三つのうちどれに行くかを確認。まだ、登録していない学生は、至急するように。なるべく、火曜日のをすすめる。プラクティカムはクラスのサイズが小さくなるだけで、普通の授業と全く一緒なので、休んだりしないように。
- 3) 編入の学生はクラスの後、教師に会いに来るように。テキストを買っていない人は、今日すぐDePaul Bookstoreに買いに行くように。テキスト、ワークブック、Cassette Programテープ(6本入り)の三つを至急買うこと。
- 4) くれぐれもスケジュールをいつもよく見るように。クイズ/宿題は連絡がない場合でもスケジュールに書いてあれば必ずその日に実行。
- 5) 宿題はそのクラスで出すこと。クラスの後に出した場合減点。絶対に、遅れないこと。遅れたら、次の宿題もあるので、もっと大変になるので。
- 6) 出席がとてとても重要。3回休んだら成績が一つ落ちる。それ以上休めば、F。プラクティカムもクラスの一つとして数えられるので、絶対に休まないこと。他のクラスと違って、日本語はクラスに来なければ、どんどん遅れてしまうし、自分で本を読んでcatch upできるものではないことをしつこく、確認。
- 7) Attendance policyで、講師の方はボイスメールのアクセスがないようなので、dept. officeか近松の所に電話してメッセージを残す。

B. 自己紹介(20) : まず、教師が軽く自己紹介をする。なるべく、ならった表現を使って、日本語で。その後、学生にも、簡単な自己紹介をしてもらう。時間がないので、短く。黒板に以下を書いて日本語で言ってもらおう。

- 1) なまえ

2) なんねんせい

3) せんこう

C: カタカナ アーソ (30) (p.89-91)

1) 宿題とクイズについてのお知らせ。板書。

- ・宿題：金曜日 p.23-25 (もし、そのページをなくしている学生がいるかもしれないので、オフィスのドアに2部ぐらい、コピー用のシートを封筒に入れておいておくとよい。転校してきた学生ひな、カタカナのところだけ、コピーをしてやる。)
- ・クイズ：金曜日：アーソまで：

2) カタカナを勉強することを説明。まずOHPでカタカナチャート(P.89)を見せて、ごく簡単に説明する。学生の名前も来週の月曜日からは、カタカナで書くことを確認。今日は最初の15文字。

3) アーオの導入 (5) (学生のコピーをもって行ってください)。

- a. 片仮名の絵カード(p.90-91のカードを作ってください)・フラッシュカードを使って導入。
- b. ワークブックのp.24を使って仮名を書く練習。黒板にチョークで大きく書く。

4) カーコの導入 (5)

- a. 3)と同じく導入する。

5) サーソの導入 (5)

- a. 3)と同じく導入する。

6) 教科書p.91とワークブックp.25の単語(OHPを作っておく)を読ませる。このとき、Long Vowelの紹介もする。(5)クイズには、これらの単語も勉強するように。

7) (時間があれば)ペアにして5文字ノートに書かせ、それを読んでもう一人がデイクテーションする。

1/8 (F): Katakana Ta-N (p.91-97)

A. Businessmatter & warm up (5)

1. 学生の名前と人数を確認。変更を明記。
2. 教科書 / ワークブック / テープの確認。
3. 宿題提出p.24のみ集めてください。 p.25をこのクラスで使うので集めないように。
4. 月曜日の宿題(p.25-31)とクイズ (ターン + 濁音、促音、Long Vowel) についてお知らせ。

B. カタカナ「アーソ」の復習 (5)

1. カタカナのフラッシュカードで、五十音順にコーラス。
2. カードの順番を変え、クラスで読ませる。

C. カタカナクイズ 1 (5)

D. カタカナ「ターン」の導入(25): 全部で30文字あるので、10文字ずつするとよい。

1. ターノの導入(7) (学生のコピーをもって行ってください)。
 - a. 片仮名の絵カード・フラッシュカードを使って「ターノ」を導入。
 - b. ワークブックのp.25-26を使って仮名を書く練習。黒板にチョークで大きく書く。
2. 「ハーモ」の導入(7): 1と同じように。
3. 「ヤーン」の導入(7): 1と同じように。
4. ワークブックp.27.C., p.29.CのOHPを作って学生によませる(5)。このとき、Smallッを紹介する。(クイズのためにはこれらの単語が大切。)

E. 以下p.95-96を読んで説明。以下、1-3を軽く説明(10) (クイズには出ないが、宿題をやるときに大切。家で読むように)

1. Voiced/Voiceless: テレビ、ドア、ペン: チャートのカ(ガ) / サ(ザ) / ダ(ダ) / ハ(バ / パ) 行ニ「」 「。」を打ちながら、一緒によむ。
2. Small ヤ / ユ / ヨ: キャンパス、コンピュータ
3. Small ッ: ベッド、バックパック
(以下は時間があればワークブックp.31のB / Cを幾つか(全部やらないように)やってみる。)

学生に伝えること!!

- ・週末にたくさんたくさん勉強するように!!
- ・基本的には、アーンまでしっかり覚え、ワークブックp.27.C., p.29.Cの単語が読めて、書けるように。
- ・濁音、Small ヤ / ユ / ヨは、クイズに出ません。(Small ッとLong Vowelは出ます。)
- ・月曜日に名前をカタカナで書いたものをあげる。

1/11 (M): Ch. 5 Vocabulary (p.131-134)

A. Business matter & warm up (5)

1. 出席、質問応答。
2. 宿題提出 (p.25-31)
3. Vocabulary Quiz1 1/13 (W) (Katanaka Quiz Study List をよく見るように) (名前をカタカナで書く!)
4. 名前をカタカナで書いたものをそれぞれの学生に渡す。(クラスの最後に渡すとよい。)

B. カタカナの復習 (5)

1. フラッシュカードでターンまで復習。
2. 3問位、ワークブック p.27.C., p.29.C のディクテーション

B. カタカナ クイズ2 (5)

C. Ch. 5 Vocabulary: 毎日の生活(5)

1. まず、p.131を見て、この課のトピックを説明する。
2. 絵カードを作成して導入。コーラス。
3. 教師が Act out して学生にあてさせる。その後、学生を4人位のグループにしてまねをさせる
4. p.132. Q:1-5 をする。

D. 数字 (10): (ノートカードを使って、数字カードを作ってください。)

1. 数字カードで 1-10 を導入。コーラス→順に言わせる。フラッシュカードの順を変えて言わせる。(4,7,9は二つあること。)
2. p.133のQ:1-3。(電話番号は一つずつ読むことを説明)
3. 数字カードで 10-90 を導入。p.138のNoteを見て $20 = 2 + 10$ 説明。40 (よんじゅう)、70 (ななじゅう)、90 (きゅうじゅう) に注意。
4. 数字カードで 11-29 を導入。p.138のNoteを見て、 $11 = 10 + 1$ 、 $21 = 2 + 10 + 1$ を説明。

E. 時/時間/分 (10): (p.133のチャートをOHPIにする。)

1. Lang.1で練習するがここで軽く導入。1時~12時までの時計の絵をOHPで用意し、時間の確認。(4:00; 7:00; 9:00に注意。)
2. カードに時間を書いて、~時の口頭練習。
3. カードに1時間、2時間、等を書いたものを見せて、~時間の練習。
4. ~分の言い方をp.133を見て導入。ふん/ぷん/ぶんにかわることを軽く説明。分はpoint of time にも duration にも使えることを説明。

F. 曜日 (5)

1. カレンダーを用いて導入。曜日を指示しながら口ならし。
2. p.134の Ques.

G. ほかの時間の言い方 (5)

1. p.134を見て読む。

P-1: Language 1 (p.137-141)

A. Businessmatter (5 min)

1. 出席
2. Vocab.Quiz 1 :水曜日 (名前をカタカナで書くように)
3. 宿題.due 月曜日 のp.50, 160 &161ができる。
4. 数字カードで、1 ~ 1 0、2 0 ~ 6 0 (1 0分単位)を一緒に読む。p.140はなしてみましようAを一緒に読む。

B. Telling time using numbers, counters and the particlesに (20)

(p.133のチャートのOHPを持って行って下さい。)

1. OHPの時計を使って、「今一時です。二時です。」と文章の形で練習。(4時、7時、9時に注意。)
2. 数字カードで1 ~ 1 2時まで口頭練習。
3. OHPの時計で ~時半を導入。時計を動かして口頭練習。
4. OHPの時計で ~分を導入。針を一分ずつ動かして、1時1分、2分と言う様にモデルを聞かせて練習、コーラス。
5. 数字カードで1 ~ 1 0分まで練習(ぶん：1、3、4、6、8、10)。そして、11 ~ 60までのいくつかも練習。
6. p.140: はなしてみましようCを使って読む練習。その後4、5問位Dictationする。
7. Am/Pm.の導入。午前~時、午後~時。
8. 「Q:何時ですか。A:~時~分です。」で文章の練習。OHPに「いまなんじですか。」「A:~じ~ぶん/ぶん/ぶんです。」と書く。時計を書いて(又はCを使って)ペアになってQ/A
9. p.139のNote6-9(時間に関係するところ)を読む。

C. Expressing time with に

1. p.138のBの例文を用いて「に」の導入。(おきます"get up"であることを説明:まだ単語が入っていないので)。時間の表現(time, days, month, yeat, etc,)のあとに「に」を加えることを説明。
2. 田中さんの一日をOHPで見せて練習。始めは教師、後に学生。
田中さんは 7 : 0 0におきます。
:
:
:
3. 助詞が使わないものについて説明。基本的には英語でat, in, onが使われないときの表現は日本語でも使わないこと。Exceptionは朝、昼、晩(日本語では、「に」を使わない)。
4. 質問の作り方。~時の代わりに「いつ」を使う。そして、「か」をくわえる。時間のところをかくしてOHPでQを作る練習。慣れれば学生に問答。「いつ」を使ったら、「に」を使わないことを説明。
田中さんは 7 : 0 0におきます。
→ 田中さんは いつおきますか。
5. 田中さんの一週間をOHPで見せ、月曜日にの練習。(時間のところは見せない)
田中さんは月曜日に本を読みます。そして、テレビを見ます。
その後、毎日/毎朝/毎晩/今日/あしたを使って練習。
6. ~曜日の代わりに"何曜日"を使ってQuesの練習。
7. 話してみましようD:やる前に例をクラスで練習。
8. 話してみましようE:やる前に例をクラスで練習。

1/13 (W):Language 2 (p.141-143)

A. Business matter (5 min)

1. 出席
2. Vocab.Quiz 2 1/15(F) (Katanaka Quiz Study List をよく見るように) (名前をカタカナで書く!)
3. 宿題 Due:1/18 (M):p.43-45 & 161-163

B. Voc. Quiz 1 (5)

(Particleはとても大切なので、それぞれのdefinitionをわかりやすく説明し、学生によく理解するように忠告)

C. Indicating destination/goal に (10)

1. p.141の例文を使ってdestination+ への説明。これはplaceにあります/いますのexistenceのとは違うfunctionであることを確認。
2. 「どこに行きますか。」の質問をし、絵カードで場所を示し(前に使ったビルなどのカード使用)「~に行きます」の練習。このとき、家、アパートのカードも含め、自分の家/両親の家なら「かえります」になることを説明。色んな場所を絵カード(Ch.4で使ったもの)を使って学生に答えさせる。(例:学校、大学、病院、郵便局、図書館、本屋、レストラン、デパート、レストラン、~さんの家、等)

D. Indicating place of action で (10)

1. p.151の例文でplace of action+ での説明('で'は存在の場所、'に'は帰着点を示す)。その場所でaction/event がtake placeすること。
2. 動詞カード、場所カードを組み合わせて文を作る。
例: としょかん/べんきょうします。
きっさてん/よみます。
レストラン/たべます。
うち/ねます。
デパート/みます。等。
3. どこで勉強しますか」のQを作る。何人が学生に質問し「~で勉強します。」で答えさせる。(家、きっさてん、図書館、りょう、等)

E. Direct object of actionを (10)

1. p.142のCの例文で導入。目的語を取る動詞カードで用い「を」をつけて練習。名詞は口で言い、動詞はカードでキュー
例: ひるごはん+たべます
テレビ+みます
ほん+よみます
シャワー+あびます
コーヒーのみます
日本語+勉強します(勉強しますは動詞)
宿題+します、等
2. 「Item」の代わりに「何」を使ってQuestionの説明。
ほんをよみます。→何をよみますか。
一般的なQuestionは「何をしますか」であることを説明。

今日のごご何をしますか。

あした何をしますか。

土曜日に何をしますか。

何人かの学生に聞く。その後ペアで練習（Timeを変えて）Timeは以下板書：—Tonight, Tomorrow, Sunday, etc.

Time expression の「に」は英語と同じでin/atが使われるときは日本語も「に」を使うことを確認。但し、ごぜん、ごご、は例外で「に」は使わない。

F. はなしてみましようA：教師が始めはモデルを見せ、後学生にクラス全体でやらせる。(10)

G. はなしてみましようB：クラスで例文を読んで確認（どこ/なに）OHP又は黒板に以下を板書してペアで練習。(10)

Q：授業のあとで どこにいきますか。

A：こうえんに 行きます。

Q：こうえんで 何をしますか。

A：ほんを 読みます。

H. はなしてみましようC： まず例を読んで確認。パートナーの答えをノートに書く。後クラスで発表。

（時間が足りなかったら Cをskipして説明の部分、カードを使つてのoral practiceに時間をかける）

1/15 (F):Language 3 (p.144-147)

A. Businessmatter (5min)

1. 出席
2. 宿題：1/18(M)p.43-45 & 161-163
3. 復習：学生にいくつか質問。じゅぎょうのあとで、何をしますか。どこにいきますか。どこでべんきょうしますか。等。

B. Vocab. Quiz 2 (5min)

C. Telling routine/future action/ event using polite form (10)

1.p.144 の例文 / 表をOHP にして動詞ますFormの説明 (Formation & Notes)

以下のことを説明のあと、V-カードでます / ませんの formation 練習 (ニコニコマーク:affirmative, Xシクシクマーク:negativeを使って)

i) V-Type (後で関係してくるから) : るverb, うverb, Irregularverb

ii) 日本語には現在形。過去形のみ。現在形はnon-pastとしpresent/futureを表わす。「ます / ません」は現在形。

iii) Plain Formもあるが今は関係ない。今習っているのは、Polite Formと呼ばれるもの。

D.Q/A : Vocの絵カード用いて はい/いいえ で学生に答えさせる。(10)

はじめは、 / Xカードでaffirmative/negative のキューを出し、答えをコントロールして、全体でコーラス。慣れたら学生に実際に答えさせる。慣れたら、学生にも、キューを出して、質問もさせる。

毎日、本を読みますか。(時間表現をまず、復習：毎晩 / 毎朝 / ~曜日に / あした / 今日)

毎朝、シャワーを浴びますか。

土曜日に学校へ来ますか。

カフェテリアで昼ごはんを食べますか。

晩おふろに入りますか。

毎日宿題をしますか。

日本語を勉強しますか。

毎晩テレビを見ますか。

あした映画を見ますか。等

E. はなしてみましよう A:(10)

F. はなしてまましよう B : (10)ピンゴ! (本をもってやるとやりにくいようなら、コピーをしてハンドアウトを作ってください。)

OHPで表にして一緒にparticleを埋めてから、やり方を説明し、学生を立たせてやる。同じ学生に一間以上続けて聞かないように。できれば、キャンディかなにかもって行って、上位5位ぐらいまでにあげる。

G. はなしてみましよう C : (10) まず例を読んで、やり方を説明し、時間を与えて、自分の予定を書かせ、Q/A. 相手のを書き込み。後でレポートする。

1/18 (M):Language 4 (p.147-150)

A. Businessmatter (5 min)

- 1.出席
- 2.宿題提出：p.43-45 & 161-163
- 3.宿題：1/22(F), p.46-49 & 164-166
4. Grammar Quiz: 1/25 (M)
5. Review：今日図書館に行きますか。カフェテリアでごはんを食べますか。何をたべますか。等。

B. Frequency of action using adverbs (5)

1. p.147の例文を使って導入。(いつも、たいてい、よく、時々、あまり(N) 全然(N)
OHPに絵を書いて練習(別紙参照：顔のマークに100%-----0%と書かれているもの)
以下のことを説明。(p.148-149: Notes)
 - i)あまり/全然是Negと使うこと。
 - ii)Adverbの位置は動詞の前である限り比較的自由であること。
 - iii)あまり/全然是Adjectiveとも一緒に使えること。このばあい、frequencyでなく、degreeであることを軽く説明。(あまり/全然おいしくありません。)

2.絵を指示しながら教師が自分の生活を説明。(10)(教師のナレーションの時、カレンダーの絵に で日にちをして frequency を見せてもいい。いくつかのパターンを作っておき、例えばカレンダーの毎日に をしているものは、「いつも」に使い、一週間のうち5~6日に丸をしたものを「たいてい」に使い、一カ月に2、3回のを時々を使うなど。)

そのあと、学生コーラス。このとき、キューは「私は8時におきます。」といいながら、毎日に をしたカレンダーをみせる。そして、学生が「マファ先生はいつも8時におきます。」という。

教師	学生
私はいつも8:00に起きます。	: マファ先生はいつも ___じにおきます。
私はたいてい朝ごはんをたべます。	: マファ先生 ___朝ごはんをたべます。
私はよくハンバーガをたべます。	: マファ先生 ___ハンバーガをたべます。
私は時々ピザをたべます。	: マファ先生 ___ピザをたべます。
私はあまりすしをたべません。	: マファ先生 ___すしをたべません。
私は全然テレビをみません	: マファ先生 ___テレビをみません

3. Q/A. 始めは教師→学生。後、学生→学生(チェンドリル)(10)

(Qのとき、よく。いつもは使うが他のものはContextがはっきりしていないとおかしい)始めはカレンダーでキューを与えて、その後、Truth に答えさせる。

何時におきますか。→ (いつも一時におきますか)

いつも朝ごはんをたべますか。

いつも図書館で勉強しますか。

何時に学校へ来ますか。 いつも一時に来ますか。

よくパーティーに行きますか。

よくきつさてんでごはんをたべますか。

よく体育館に行きますか。

よくお風呂に入りますか。

よくすしを食べますか。 / きっさてんに行きますか。 / 病院に行きますか。 / テレビをみますか

4. Notep.148-149読む。

D. 話していきましょう A : クラスで(10)

E. 話して見ましょう B : ペアで(10)

F. 話して見ましょう C : ペアで(10) (時間がなければスキップ)

P-1 Language 5 (p.150-152)

A. Businessmatter (5 min) (朝のクラスで言ってありますが、もう一度確認)

- 1.出席
- 2.宿題提出：p.43-45 & 161-163
- 3.宿題：1/22(F), p.46-49 & 164-166
4. Grammar Quiz: 1/25 (M)

B. Telling approximate time / duration using ごろ / ぐらい (25)

1. p.150: A 「ごろ」導入。時刻を表わすときに使う。 ごろにOK
(まず「何時におきますか。→ 8:00におきます」を学生に言わせ、にをごろに変える。
2. 数字カードで練習(1:00、2:00、6:30。(半も言わせる。)等。
3. (毎日/土曜日に)何時ごろおきますか。→ チェンドリル
何時ごろ晩ごはんを食べますか。/ねますか。→ チェンドリル
4. p.150: B 「ぐらい」を導入。Duration を表わす。
5. 数字カードで練習。(1 hr、2 hrs、等)
(まず私は8時間ねます→ 8時間ぐらいに変える。
6. OHPに時間を書いたかみを使って describeさせる。(ハンドアウト)
5:00 Go home → 5:00ごろ帰ります
6:00 Dinner → 6:00ごろ晩ご飯を食べます。
7:00~8:00 TV → 1時間ぐらいTVをみます
8:00~12:00 Study → 4時間ぐらい勉強します
12:00 Sleep → 12ごろねます。
7. Q/A 何時間(ぐらい)勉強しますか/TVをみますか/本を読みますか/宿題をしますか。
8. Notes p.151を読む。

C. はなしてみましようA: クラスで(10)

D. はなしてみましようB: 例をいくつかクラスでしたあと、ペアで (10)

1/20 (W) Reading & Listening (p.152-154)

A. Business matter (5 min)

1. 出席
2. 宿題返却 (p.46と164は金曜日提出の宿題で使うので、1の宿題をおくれて出した学生には、p.45とp.163はあつめないで、金曜日にまとめてもってくるように！ただし、厳重に注意。)
3. 宿題：1/22(F), p.46-49 & 164-166
4. Grammar Quiz: 1/25 (M)
5. Review Session: 1/22 (F): 絶対来るように！

B. じょうずなよみかた：P152 (5 min)

1. p.152の "Using script....." をだれか学生に読ませる。Kanji・Katakanaの始まりが Word boundaryを表わすこと。Kanji, Katakana, Hiraganaが日本語の text の中でどう使われているか、など軽く説明。
2. P152の practice: 一緒に読んで OHP で示しながら "/" を引いて word boundaryを確認。

C. ジョンソンさんの一日：P153 (25min)

1. p.153の titleを読ませる。
2. ことばのリストをクラスで読んで、で習っていないことばの確認。
3. p.153-154 Comprehension Q. を先にクラスで読む（学生に読ませて意味の確認）。
4. まず、教師が音読して、学生は聞きながら文字を追う。（このとき学生には繰り返させず、ただ聞かす。）
5. 学生に時間を5-7分位与えて、comprehensionの Ques/ Ansを書かせる。
6. 一文ずつ、学生に読ませて、ヒントをあたえながら、訳せる。

D. Listening/ じょうずなききかた (15) (ハンドアウト)

1. p.154 の "Distinguishing....." を読む。（Aはしなくてよい。）
2. 「三つのライフスタイル」： 教科書のタスクは変えて、listening comprehensionにする。ハンドアウトを配って、どの人のライフスタイルに一致するか記入させる。

E. Dicta - Conversation (10)

1. やり方を説明。
2. P.155のOHPを作る：鈴木の部分を読みかせ、ディクテーション。その後、スミスを書かせる。
3. 答え合わせ：（時間があれば）HW/鈴木を学生に言わせ、答えを OHPで確認。（時間がなければ、家でやってこさせる。金曜日に答え合わせ。）

1/22 (F) Dialogue & Review

A. Business matter (10 min)

1. 出席
2. 宿題提出 : p.46-49 & 164-166
3. Grammar Quiz: 1/25 (M)
4. Dicta-conversationの答え合わせ。

B. Review (35) (ハンドアウト)

Review sheetをする。

(復習に時間がかかれば、以下は月曜日に回してもよい。)

C. ダイアログ(15)

1. p.134.A
2. p.135ダイアログを読む前に絵を見て何を話しているかを想像。
3. p.136の「わかりましたか」comprehensionを先に読んで意味の確認。
4. ダイアログのテープを聞く。
5. ペアで読む練習。
6. Comprehension (P7)をする。

1/25 (M) Integration

A. Business matter (10 min)

1. 出席
2. 宿題返却：クイズの前に質問があれば、答えてやる。

B. Grammar Quiz (10 min)

(C. ダイアログ)

D. 書く練習 (30) (ハンドアウト)

「わたしのまいにち」という題でかんたんな作文を書かせる。月曜日から金曜日までと週末の土曜日と日曜日についてかかせる。まず、チャートをうめさせて、そのあと作文をかかせる。「そして/でも」や「いつも/ときどき/よく」や時間などの表現を使わせる。クラスで書かせて、集めて、チャックしてやる。何人かの学生にそれぞれの作文を読ませてもよい。

E. ロールプレイ (10)

Katakana Practice

かたかな

n	w	r	y	m	h	n	t	s	k	vowel	
ン	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	a
X	X	リ	X	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	i
X	X	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	u
X	X	レ	X	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	e
X	ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	o

ア										
イ										
ウ										
エ										
オ										
カ										
キ										
ク										
ケ										
コ										
サ										
シ										
ス										
セ										
ソ										

[ア~ソ] キス ケーキ サーカス ケース アイス シーソー コース エース
オアシス

タ										
チ										
ツ										
テ										
ト										
ナ										
ニ										
ヌ										
ネ										
ノ										
ハ										
ヒ										
フ										
ヘ										
ホ										

[ア～ホ]

カタカナ
テキスト

ネット
カッター

セーター
ハイヒール

カヌー
ホット

ノート
ニット

エチケット
テスト

マ										
ミ										
ム										
メ										
モ										
ヤ										
ユ										
ヨ										
ラ										
リ										
ル										
レ										
ロ										
ワ										
ン										

[ア～ン]

アメリカ オーストラリア フランス メキシコ ステレオ ノート レストラン

Ch. 5, Language 5: ごろ / ぐらい

Tanaka-san's evening schedule

5:00	go home	_____	うちにかえります。
6:00	eat dinner	_____	ばんごはんをたべます。
7:00-8:00	TV	_____	テレビをみます。
8:00-12:00	study	_____	べんきょうします。
12:00	go to bed	_____	ねます。

Ch. 5, Language 5: ごろ / ぐらい

Tanaka-san's evening schedule

5:00	go home	_____	うちにかえります。
6:00	eat dinner	_____	ばんごはんをたべます。
7:00-8:00	TV	_____	テレビをみます。
8:00-12:00	study	_____	べんきょうします。
12:00	go to bed	_____	ねます。

Ch. 5, Language 5: ごろ / ぐらい

Tanaka-san's evening schedule

5:00	go home	_____	うちにかえります。
6:00	eat dinner	_____	ばんごはんをたべます。
7:00-8:00	TV	_____	テレビをみます。
8:00-12:00	study	_____	べんきょうします。
12:00	go to bed	_____	ねます。

Ch. 5 ふくしゅう

I-a. Read the following numbers/time expressions and write in hiragana.

4	30	9:30
6	47	7:28 a.m.
9	2:00	11:50 p.m.
11	4:10	noon

I-b. Complete the following sentences, filling time expressions.

()	テレビをみます。	I watch TV	every night.
()			at night.
()			on Friday.
()			for 2 hours
()			at 8:00.
()			today.

*at 5:00: ごじに vs. ごじごろ: around 5:00

*for 2 hours: にじかん vs にじかんぐらい: about 2 hours.

A: いま、() ですか。	What time is it now?
B: () です。	It is 8:15.
A: まいあさ () おきますか。	What time do you get up every morning?
B: () おきます。	I get up at 7:30.
A: まいにち () がっこうにきますか。	What time do you come to school every day?
B: () きます。	I come to school around 9:30.
A: まいにち () べんきょうしますか。	How many hours do you study every night?
B: () べんきょうします。	I study for four hours.
A: まいばん () ねますか。	How many hours do you sleep every night?
B: () ねます。	I sleep about 6 hours.

II. Particles

destination/goal	に	うちに	かえります。			
place of action	で	としょかんで	べんきょうします。			
direct object	を	きょうかしょを	よみます。			
place of existence	に	がくせい	が ぎょうしつに	います。		
time	に	げつようびに	いきます。			
item of existence (subject)	が	じゅぎょう	が	あります。		
possession	の	にほんごの	じゅぎょう	が	あります。	
and	と	にほんごと	けいざいがくの	じゅぎょう	が	あります。
topic	は	わたしは	ディポールだいがくの	がくせい	です。	
similarity	も	スミスさん	も	ディポールだいがくの	がくせい	です。

Fill in () with particles and _____ with verbs.

- ほん () _____。 I read books.
- うち () _____。 I go home.
- しゅくだい () _____。 I do homework.
- まいにち () 9じ () だいがく () _____。 I come to school at 9:00 every day.
- にちようび () としよかん () _____。 I study at the library on Sunday.
- よる () カフェテリア () ばんごはん () _____。 I eat dinner at the cafeteria at night.
- まいばん () さんじかん () テレビ () _____。 I watch TV for 3 hours every night.
- きょう () にほんご () じゅきょう () _____。 I have Japanese class today.

IV. Frequency of actions (adverbs)

always: _____	not very often: _____
usually: _____	not at all _____
often, frequently: _____	

sometimes:

いつも、にほんごをべんきょうしますか。 _____

よく、おふろに はいりますか。 _____

ときどき コーヒーをのみますか。 _____